

森林クラウド及び森林経営計画策定システム操作研修会について

1 目的

大船渡農林振興センターでは、管内市町担当者から、森林クラウド及び森林経営計画作成システムの操作方法等に問合せを受け対応してきました。今回、操作スキル向上を図るため関係者を対象とした研修会を開催したので、その概要を紹介します。

2 研修会の概要

令和6年7月12日(水)、大船渡地区合同庁舎会議室を会場に、システム管理者である株式会社パスコから講師を迎え、市町や森林組合、林業事業体、当センター職員など18名が参加しました。

(1) システム操作確認

研修参加者が普段使用しているPCを持ち込み、会場に設置したWifiへの接続、研修用IDによるログイン状況を確認しました。

(2) クラウドシステムの操作研修

講師指導による基本操作を学んだ後、複数の条件による検索や飛び地の取り扱い、プロジェクトの活用方法等について研修を行い、用途にあわせプロジェクト登録することにより操作を簡便化する手法などについて学びました。



研修中は、参加者が戸惑うことなく操作出来るよう当センター職員がサポートし、参加者が発言し易いような雰囲気作りに努めました。

(3) 森林経営計画策定に向けた操作研修

基本操作に加え、森林簿データの取り込み時における注意点や操作エラーが生じる仕組み、森林簿データの修正方法について説明を受け、理解を深めることができました。



(4) その他

当センターからは、システム操作研修後、地番・境界確認用にスマートフォンで登記所備付データを閲覧できる「MAPPLE 法務局地図ビューア」の概要を情報提供しました。

3 今後に向けて

パスコから講師を招いたことでシステム操作時に生じるエラー理由や複数の操作方法等、一歩踏み込んだ内容の研修とすることができました。

研修の参加者からは「森林経営計画の策定に役立てたい」との声もあり、森林クラウドシステムの機能をより有効に活用した森林経営管理制度の運用や森林経営計画策定等について働きかけていくこととしています。